臺灣日日新報 (第二號)（原臺灣新報）（明治廿一年五月九日第三種郵便物認可） 昭和八年二月三日（金曜日） 第一万一千七百九十一號 (一)

臺灣新民報 (夕刊)

二月二日 夕刊定價一部貳錢

總會では棄權せず 堂々反對投票をなす

從來の微溫的態度を一變

帝國政府と共に國聯に逆戻り

自衛行動と滿洲問題 大國の反對で纏らず

その儘十九國委員會に滿洲問題を持ち越す

【ゼネバ一日發電通特電】一日の起草委員會の結果を通觀するに結局日本の自衛行動と滿洲國獨立に付き大國筋の反對に依り何等の結論も下し得ずその儘十九國委員會となつた譯で、委員會が之を如何に處理して勸告案の起草に移るか最も注目されてゐるが、二日開催に決まつた英佛伊イーデン、イーマンー國代表の會談の結果如何も内容問題のため來會しない國は第三部に代表派遣の必要を認めず、事實上第二部だけを開催することとなつた

勸告には當分觸れぬ

【ゼネバ一日發電通特電】一日の起草委員會ではなほ次の點を決定した

一、起草を終了した報告書草案は一月十八日以後の行動に就ては一月三十一日案を暫定案として採擇し置きその正式採否は十九國委員會へ任すこととなつた、右に就ては各代表エデンが熟慮の上修正を主張せる結果今會一致の草案を得る事出來ず。この點だけは十九國委員會で改めて協議する事になつたもので暫定案の點では十九國委員會に提出することに異りマダリアガ氏は起草案に會が現在の報告書を暫定的案として今週中に十九國カ日會に提出以て十九國カ日會に於ては更に勸告の審議に取かゝり得ずしめんと欲し努めてゐるが若し完全な案を得んとすればいま暫らくの會の開會は出來ないと說明した

四、報告書草案の十項目中、「日本の滿洲に於ける軍事行動は滿洲國の獨立に關する條約上の義務を履行するに必要なる程度を超えざるものと認むる」の一項目に關しては意見對立の有樣で十九國委員會が採擇すべきことは起草委員等自身既に豫想し居り、從つて最後論が勝たざる限り日本側の最後的行動を防止し得ないだらうと見るものが多い

十九國委員會も紛糾か

穩健論が勝たざる限り 我最後行動は防止出來ぬ

【ゼネバ一日發電通特電】聯盟側では起草委員會が發展に關し第一部會に第二部だけを附加する事に決定した、十九國委員會は之に異議を加へざるを可とする見解であるが三部會も必要の二項目に關しては意見對立の有樣で十九國委員會が採擇すべきことは起草委員等自身既に豫想し居り、從つて最後論が勝たざる限り日本側の最後的行動を防止し得ないだらうと見るものが多い

勸告には當分觸れぬ

【ゼネバ一日發電通特電】一日の起草委員會ではなほ次の點を決定した

一、起草を終了した報告書草案は一月十八日以後の行動に就ては一月三十一日案を暫定案として採擇し置きその正式採否は十九國委員會へ任すこととなつた、右に就ては各代表エデンが熟慮の上修正を主張せる結果今會一致の草案を得る事出來ず。この點だけは十九國委員會で改めて協議する事になつたもので暫定案の點では十九國委員會に提出することに異りマダリアガ氏は起草案に會が現在の報告書を暫定的案として今週中に十九國カ日會に提出以て十九國カ日會に於ては更に勸告の審議に取かゝり得ずしめんと欲し努めてゐるが若し完全な案を得んとすればいま暫らくの會の開會は出來ないと說明した

四、報告書草案の十項目中、「日本の滿洲に於ける軍事行動は滿洲國の獨立に關する條約上の義務を履行するに必要なる程度を超えざるものと認むる」の一項目に關しては意見對立の有樣で十九國委員會が採擇すべきことは起草委員等自身既に豫想し居り、從つて最後論が勝たざる限り日本側の最後的行動を防止し得ないだらうと見るものが多い

起草委員會 一日の決定事項

ボイコットは經濟手段により相手國の違約條約上の義務を履行するに必要なる程度を超えざるものと認むる

二、滿洲國獨立に付き大國筋の反對に依り何等の結論も下し得ずその儘十九國委員會となつた譯で、委員會が之を如何に處理して勸告案の起草に移るか最も注目されてゐるが、二日開催に決まつた英佛伊イーマンー國代表の會談の結果如何も内容問題のため來會しない國は第三部に代表派遣の必要を認めず、事實上第二部だけを開催することとなつた

三、一月末迄に提出された報告書草案が一月中に十九國委員會に提出されることに異りマダリアガ氏は起草案に會が現在の報告書を暫定的案として今週中に十九國カ日會に提出以て十九國カ日會に於ては更に勸告の審議に取かゝり得ずしめんと欲し努めてゐるが若し完全な案を得んとすればいま暫らくの會の開會は出來ないと說明した

四、報告書草案の十項目中、「日本の滿洲に於ける軍事行動は滿洲國の獨立に關する條約上の義務を履行するに必要なる程度を超えざるものと認むる」の一項目に關しては意見對立の有樣で十九國委員會が採擇すべきことは起草委員等自身既に豫想し居り、從つて最後論が勝たざる限り日本側の最後的行動を防止し得ないだらうと見るものが多い

滿洲國 不承認宣言を緩和する意向

大國側が將來の爲

【ゼネバ一日發電通特電】聯盟側では起草委員會の發展に關し第一部會に第二部だけを附加する事に決定した、十九國委員會は之に異議を加へざるを可とする見解であるが三部會も必要の二項目に關しては意見對立の有樣で十九國委員會が採擇すべきことは起草委員等自身既に豫想し居り、從つて最後論が勝たざる限り日本側の最後的行動を防止し得ないだらうと見るものが多い

勸告には當分觸れぬ

【ゼネバ一日發電通特電】一日の起草委員會ではなほ次の點を決定した

一、起草を終了した報告書草案は一月中に十九國委員會に提出されることに異りマダリアガ氏は起草案に會が現在の報告書を暫定的案として今週中に十九國カ日會に提出以て十九國カ日會に於ては更に勸告の審議に取かゝり得ずしめんと欲し努めてゐるが若し完全な案を得んとすればいま暫らくの會の開會は出來ないと說明した

四、報告書草案の十項目中、「日本の滿洲に於ける軍事行動は滿洲國の獨立に關する條約上の義務を履行するに必要なる程度を超えざるものと認むる」の一項目に關しては意見對立の有樣で十九國委員會が採擇すべきことは起草委員等自身既に豫想し居り、從つて最後論が勝たざる限り日本側の最後的行動を防止し得ないだらうと見るものが多い

回訓の趣旨を纏め 書面を聯盟に提出

一日松岡代表が ド總長を訪問

【ゼネバ一日發電通】一日松岡代表はドラモンド聯盟事務總長を訪問し、回訓の趣旨を纏めて書面を聯盟に提出した

『冷靜に進む』

松岡代表の談

【ゼネバ一日發電通】一日松岡代表は午前十時半より佐藤三代表は二日午後三時半より四時半まで國聯について協議したためでその具體案に就ては代表部に研究に後ち部分あるので代表部首腦部に於ては右勸告附報告書が總會の表決に附された場合には從來の態度を一變し帝國政府としては右勸告案の有效成立を妨碍することとなり、我代表團に對する訓令も從つて變更せらるべきは勿論なるも、我代表團に於ては從來の態度を變更する意思なく、從つて

共婚家庭の惱み

入學期が近づき心配は共學試驗

萬一不合格となれば

（本島語の解らぬ學齡兒をどうするか）

四月から五つづいて各小學校の入學期になると學齡兒をもつ世親は何れも心配をするが、この中でも最も心配なのは本島人の家庭である。それは本島人の兒に公學校があるが、今日では小學校と共學する者が非常に多くなつたが、その結果として共學試驗が難かしくなり、中には試驗の見込なしとされてゐる今日七歳か八歳の子供が小學校に入學するためにそれが理由で離婚までも試驗官の前に出なければならないのである。小學校の共學試驗には體格檢査の際に身體の健全なものでなければ合格しないと云ふことである。それで兩親が内地人で、父か母が本島人であつた場合は父が内地人で母が本島人であるから公學校よりもその子は良く内地化するのは當然であらう。現在北に住する内地人家庭では殆ど全部と云ふ程公學校に入學させてゐるのである。それで本島人でも内地人と同樣に國語を解せしめ、すれば本島人でも無條件で何處の小學校にも入學を許可さるべきである。それと反對に内地人の子供でありながら國語によつて内地語を知らない者があるが之等は内地人でも公學校に入學しなければならないと云ふ結果になる

充分に

國語を話せる者を加なる共學試驗に合格しなかつたからと云ふので公學校に入學させると云ふのは不合理ではないだらうか、當當局としては此の共學について内地人の子供でありながら國

續殘月譜

(106)

志乃田迪司作
清水三重三畫

悲のくらし(六)

「おっ！」

腕をふるはずして跨る宮六を、御覽ぼ。

「たっ！」

と跳りつけた。

その刹那を下と打つて、宮六の體は、からり刀を落すと、共の場に倒れた。

「そらぼ、そらぼ、彼女ではないか」

「よ、兄さん！」

彼女は縋りつきたい眼で見やつた。

「貴は、そなたの家を騙ふのであつた」

と彼女は、腕を捲られて居る乾人へ、憎い眼をくれて。

「その方は、その方は――」

其儘で、初めて、吉次は、對手をしつかり見た。

「おつ！」

同時に。

「手を離せ、手を」

「手を離せとは、したが彼女の眼の色で、それを出止し。

「お嬉らしや、河合さまの御子息で――？」

「それを、手荒めにされる前に、河合の御子息から飜ねられましたが、彼女は――」

「知れぬか？」

「はい」

手を離すとは、――

「一體、どう云ふことなので御座いますか」

「一だが――」

吉次は應さない。

「一體、どう云ふことなので御座いますか」

「一體、どう云ふことなので御座いますか」

「一體、どう云ふことなので御座いますか」

漢文臺灣日日新報

總會不可棄權
正宜堂々反對投票
此論外務省內有力

一日東京電。依十五條四項公表之報告書內容。略已判明。而勸告案全然不明。故外務當局。極力蒐集情報。然勸告案。擬不出律敦報告書第九章十條之原則。並提案趣旨範圍外。而於勸告案。一承認滿洲之中國名目的主權。滿洲於中國政府所任命最高委員之下。與比廣範自治權。二被現在滿洲國政府否認。認宜解消。三認定滿洲自治領案。殆對已確定的。然內一勸告案。已含滿洲國否認意思。十與會無料宿舍所改築。得總督府及臺灣社會事業協會之補助。於昨年七月動工。林麒麟氏主張產婆騷話歷止。駁國產要多數。應省部濟民之便計。對講習員每人或補助與金百圓或二百圓。滿場討論結果得多數贊成。柴田議長答以商要考慮。黃直發氏。提議爲猫鳥大曲壁。須禁止。由議長答之。林麒麟氏提議施行義務教育。到受業料廢止。鄭參與答以若施行義務教育。對財政上。有影響四千三百四十圓。民衆不堪負擔。如何對每人徵收授業料三十五錢。現只徵收二十錢。若又徵收三十錢。一般贊成。欲設林產館。供一般觀覽云。

熱河戰機已迫
學良續派正規軍
與日滿軍難免衝突

一日新京電。張學良對熱河續派正規軍增助之。故熱河省。與日滿兩軍衝突難避。熱河開戰期。已迫在目前云。

某國反滿運動濃厚
領事館供學良策動

一日來天電。來天駐在某々三國領事館。爲張學良滿洲證據之地盤。殊如某國總領事館。最近路當援助反滿運動。形跡濃厚。滿洲國當路。云張學良其本國云爲抗日宣傳。入熱河省內而南方學生二十餘名。亦於下旬北方奈玉府。盛行抗日。又抵昌黎附近之十九路軍大本營。乃學生軍所組織者。

美國系學生
宣傳抗日

一日錦州電。中國學生旨決算表。鄭參與報告八年度歲實現事業。於是移入對民衆加負擔。今非高次郎氏。質問炊事場西面所。二階有客宿人室。便所。二階爲客宿人室。收容能力增加宿泊人室。收容能力增加地。客宿人五十名。宿泊人二十四名云。

臺中神社附近
建葬儀堂
社司訪問市尹

臺中市當局。自八年度。擬投八萬四。建築葬儀堂。該敷地略定于臺中公園後。即十九號。近接臺中神社。慢慢是適否。市尹對此事件。出抗議。市尹對此事件。謂確信無污神聖。而且神社現在位置。關于種々。策動。

鹽水商工會
中籤番號

鹽水商工會。主催。主三等五八一。商二二三三。工八七八七。三等九〇二四。各通。四等二三二一。九號。二六一八號。四五九三號。五七八三號。七八九一號。五等當籤百三枚。

羅東街協議會
論浮復地爲庄基產
懇州知事代爲盡力

一日羅東街協議會。及參與員。並當記氏名。會議署名者。指名到臺。及高道。正誼二氏。議案配付後。通知議事日程。提示事項。有昭和六年度歲入出決算。報告事項。則其本財產收支精算。及吏員退職給與金遺族扶助料之基金收支計算。基本調產有四千三百七十四圓十一錢。昭和七年四月一日現在。吏員之納金。卽百三十七圓十二錢。次附議路開事項第一號。卽昭和八年度歲入出豫算。審議之增減理由。並完編羅東街基施設。今後須要七十餘萬圓。而最重要之施設。今後須要七十餘萬圓。而最重要之施設。今後須要七十餘萬圓。而最重要之

（原稿用紙）（明治卅一年五月廿二日第二種郵便物認可）昭和八年二月三日 日曜日 日日新報 （金曜日） 第一万一千七百九十一號 （一）

臺灣日日新報

東大教授 法學博士 美濃部達吉先生著
◆特別上製 菊判 大八六◆
第一卷 四圓八拾錢 〒十二錢
◆資料篇 四六二頁◆

新刊
本書は現行司法制度に關する判例を體系的に編纂したもので、全部を上下二卷に分ち、上卷には憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法の各部門に關する判例を、下卷には國際私法、國際公法、國際民事訴訟法、國際刑事訴訟法の各部門に關する判例を、それぞれ收めてある。而して各判例には、必ず事實の概要を掲げ、且つ判決の理由を明瞭ならしめるやうに努めてゐるから、本書は學者にとつても實務家にとつても、最も便利な參考書である。（內容見本呈）

新刊
訂補 公法判例大系
東京帝國大學助教授 田中耕太郎先生著
菊判上製 貳圓八拾錢 〒十二錢
全一冊 ◆資料篇 四六二頁◆

新刊
商法總則概論
東京帝大教授・法學博士 松本烝治先生著
菊判上製 金四圓 〒十二錢
全一卷 ◆資料篇 四六二頁◆

新刊
新統一手形法論
大阪商科大學助教授 大橋光雄先生著
菊判上製 金四圓 〒十二錢
全一卷 ◆資料篇 四六二頁◆

新刊
商業政策
第一部 外國貿易理論
東京帝國大學助教授 油本豐吉先生著
菊判上製 金四圓 〒十二錢
全一卷 ◆資料篇 四六二頁◆

新刊
財政學
小川鄉太郎先生著
菊判上製 二圓 〒十二錢
全一冊 ◆資料篇 四六二頁◆

大好評
財政の概念 國家財政の本質 國家財政の範圍 國家財政の組織 國家財政の機能 國家財政の原則 國家財政の現狀 國家財政の將來
本書は現代財政學の大家たる京都帝國大學教授 小川鄉太郎博士と京大教授 汐見三郎博士との合著にして、全部門に亙り各種の問題を網羅し、最新の資料を驅使して、最も詳細に論述したる、現代財政學の全部門を網羅する唯一の大著述なり。
京大教授 法學博士 汐見三郎先生著
菊判上製 二圓五拾錢 〒十二錢
附錄 索引 計頁 ◆資料篇 四六二頁◆

新刊
公債及び統制問題
京都帝國大學助教授 八木芳之助先生著
菊判上製 四圓八十錢 〒十二錢
全一冊 ◆資料篇 四六二頁◆

新刊
國民所得の分配
東京帝國大學助教授 汐見三郎先生著
菊判上製 二圓五拾錢 〒十二錢
全一冊 ◆資料篇 四六二頁◆

新刊
財政學
東京帝國大學助教授 田中耕太郎先生著
菊判上製 貳圓八拾錢 〒十二錢
全一冊 ◆資料篇 四六二頁◆

新刊
財政學
東京帝國大學助教授 木村元一先生著
菊判上製 二圓五

聯盟の危機と財界人の覺悟

財政膨脹の大勢を閉却すな

何う落著くか、二日の十九國委員會で決定

和協に對する意思表示

文案の出來次第に提出

二項を生かす爲に最後まで努力を傾注

代表部首腦部會議で一致

衆議院豫算總會

一日延期さる

田島氏が液體燃料につき

陸海兩相に質問

園公の脈を引いたり腰が少しフラ〳〵

藤井氏、外相に詰め寄る

臺東澎湖兩廳長きのふ更迭發表

熱河討匪については如何なる抗議も一蹴

外務陸軍の態度決定

堺氏の葬儀に拓相の參列は輕率

二室戸子から追究

離島の爲もつと働きたかつた

本間新臺東廳長談

貴族院本會議（二日）

轉任の二氏（上は本間新臺東廳長下は兒玉南洋廳書記官）

シナチク

人事

けふの兩院

國際勞働會議使用者代表

第一候補は

渡邊鎧藏氏

臺南市本町
近江屋金庫店
電話一〇五七番

救護看護婦生徒約十名試驗ノ上採用ス希望ノ向ハ昭和八年二月二十五日迄ニ申込マレタシ
志願者ハ履歴書ヲ添ヘ臺北市東門町
日本赤十字社臺灣支部
電話二三〇番

外科　梅毒科　本町一丁目　一番瀨醫院　電話七八八番
内科　婦人科　新町二丁目　殿村醫院　電話二三〇番
外科　（入院設備）　京町二丁目　大場醫院　電話二八〇番
產婦人科　京町（鳥居ノ前）　鶴田醫院　電話二九〇番
眼科　大和町四丁目　筒井醫院　電話二八〇番
眼科專門　入院設備　台北市表町二ノ八　番電話三〇番　鐵道七九番　塚原眼科醫院
耳鼻咽喉科　本町二丁目　長尾醫院　電話二八〇番
齒科　京町二丁目　小林醫院　電話二八〇番
小兒科　台北市榮町二丁目六番地　松山醫院　電話二五九〇番
耳鼻咽喉科　（入院設備）　本町二丁目　藏田醫院　電話二三七番
耳鼻咽喉科　榮町一ノ八　天野醫院　電話二三〇番
內科　皮膚科　性病科　台北市京町一丁目二番地　（感冒入）　千本醫院　電話四〇八番
外科（入院）　本町三丁目　筒沼醫院　電話二八〇番
小兒科　京町二丁目五二番地　關屋醫院　電話二七三番

大阪商船基隆出帆
門司神戸行
扶桑丸　一月三日後四時發
筑紫丸　一月十三日後四時發
定期直航貨客船
香椎丸　一月二四日後四時發
朔北丸　一月二十一日後四時發

大連汽船基隆出帆
大連直行
山西丸　二月八日午前出帆
山東丸　二月十九日午前出帆
門司神戸行
宮野丸　一月六日後四時發
大和丸　一月十日後四時發
丸一組　電話二四七番

滿開の新竹南庄の櫻花

自治的訓練に邁進する新竹州下の
「四五日」頃が一番見ごろの新竹南庄の櫻
◇…各街庄協議會…◇

【新竹電話】新竹州管下各郡役所所在地の櫻は二月四、五日頃が一番見頃であらうと言はれてゐるが同地の櫻は寒りが厳々で早いのは一月半ば頃から咲いのは三月末まで咲き續け殊に獅頭山の櫻と共に各方面から觀櫻者が多い現在分散樹内にある數本の古木は南庄の名地近い大正何方面から野生のものを大正七、八年頃移し植たものでその後消毒驅除の施りが厳々で早いのは一月半ば頃から咲いのは三月末まで咲き續け殊に獅頭山の櫻と共に各方面から觀櫻者が多い現在分散樹内にある數本の古木は南庄の名地近い大正何方面から野生のものを大正七、八年頃移し植たものでその後消毒驅除の施りが厳々で早いのは一月半ば頃から咲いのは三月末まで咲き續け殊に獅頭山の櫻と共に各方面から觀櫻者が多い現在分散樹内にある數本

井上校長
委任待遇祝賀會

【嘉義電話】嘉義商工專修學校長井上德次郎氏は今回奏任官を以て待遇される旨となつたので嘉義商業學會學際關氏及び玉川一平、女子三公學校の保護者幹事林米樹、玉井繁、陳肥庚三氏發起で三日午後六時より市内某所にて文明樓に於て祝賀會を開く筈、總加入

二日間で——二萬餘圓の漁獲
鰆、糸よりの大群押寄せ

【基隆電話】基隆州四山郡瑞山郡內山漁業組合は一日、二日の漁獲は一月二十八日以來潮流の關係で鰆、糸よりの大群が押し寄せ三十日、漁獲高は鰆四百五十斤糸より三千二百四十斤二日間に二萬二千七百餘圓の漁獲を擧げたに過ぎないと云ふ程の豐漁を續けたが同漁組合員の數は一千二百餘名で總數元百二十八名中僅かに一、〇〇パーセント

ラヂオ

今日のプログラム

臺北(AK)周波 ㌔㌔
臺南(BK)周波 ㌔㌔

午前の部

【六・三〇】朝の體操、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ並北部傑作談話
【八・〇〇】金關臺南電報(臺南)
【九・三〇】臺南音樂團合唱「安倉中宮が急に小さくなるのは生後五ヶ月の赤ちゃん目から鼻が出ます」民謠「三、四十歳の女性と適宜な榮養法」
【一〇・〇〇】家庭料理獻立(原田ふみ談話)グリンスープ、ハムバーグステック、雜菜野菜果物のサンドウイッチ
【一一・〇〇】日用品小賣値段臺北市西門市場發表、臺南市西市場發表
【一一・五九】正午の時報、氣候、海況報(臺北の分臺北測候所發表)

書間の部

【〇・〇〇】放送局組曲ニュース
【〇・一〇】書間演藝時間(レコード演奏)
【三十三間堂由來】木村重友作「三十三間堂由來」を脚色した「鬼女の角」の三幕目の初めである。鬼女の角を

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間(臺北)
【六・三〇】(臺南臺北)
【六・四五】映畫物語 臺北
【七・〇〇】連續花筏(東京)
【七・四五】映畫物語 臺北のみ
(木島組「乾隆君遊江南」趙櫃、伴奏同志音樂會團員「藤原義江」)
【八・三〇】時報(臺北)
【八・三一】講演(臺北)醫生流「小袖曾我」吉尾長國
【九・一〇】氣象通報臺北測候所發表、臺日ニュース(臺北のみ)、臺南新報ニュース(臺南のみ)、示唆時刻報知ニュース(臺南のみ)、明日のプログラム發表

間時樂娛間書

◆義太夫 (午後零時廿分)

綠丸の可憐で泣かせる

三十三間堂棟由來平太郎住家の段
淨瑠璃 竹本錣太夫
三味線 豐澤新左衛門

附合した佛敎主義の夢幻劇で「和歌浦」には名所がござる、「一ノ橋」「二ノ橋」の雲頭が入つてゐて小袖の二デを題したものである。

映畫物語の夕

乾隆君遊江南
本島語 趙 櫃
伴奏同志音樂會團員
【臺北のみ】(夜七時四十五分)
【臺南のみ】(夜七時四十五分)
薩摩飛脚
(大佛次郎原作)
和田少陽
【臺南のみ】(夜七時四十五分)
勝浦芳郎
午後六時

連續浪花節

【午後七時】(東京)
河内山(終席)
木村重友

家庭料理獻立

【午前十時十分】(臺北)
原田ふみ談話

▼グリンスープ
菠菜菜二把、牛乳二本、バター少量、玉葱半個、胡椒、メリケン粉大匙一杯、クロトン(パンの屑の日干を掛けたもの)少量
▼ハンバーグステック
牛豚挽肉三五〇瓦、玉葱一個、パン屑、バター、鹽、胡椒、玉子一個、ヘットトマトソース、ウスターソース
▼雜菜野菜果物のサンドウイッチ
雜菜半本、胡瓜一本、馬鈴薯一個、林檎一個

家庭百科問答

【午前九時三十分】(臺北)
▲嬰兒の體重が急に少さくなるのは生後五ヶ月の赤ちゃん丈から現れます
▲榮養不良の三四十歳の女性と適宜な榮養法

銃殺を見る

支那の話 (下)
須井 一

群衆の中に

立つて銃殺して
五六人の支那兵は、銃殺にて銃殺をより過して群衆を追ひ散らしにかかつた。銃も群衆が後退して風紀の中央に空地が出來た。と、そこへ一臺の無蓋のガタ自動車が十數をあけて突込んで來た。いふまでもなく孔を感染して來た自動車であつた。孔はまだ若い子供子供した所謂者だつた。殺れた支那兵が後手に縛られてゐた。暴くからだつたので銃形はわからなかつたが、三人の

武裝兵士に

殺られて飛散
へのぞみながら、しかもその際度には一層しい緊張さを見せてゐた。私はそれを見ると急に感動が胸へこみあげてもたまらない切なさを感じた。大男の巡査下、同をかみしめ眼で呼吸をしてゐつと、孔をみつめてゐた。大きな胸喰佛が四角い顎のあごの下でピク〳〵してゐた。私は先頭から數人目の兵士が彼の前から銃を受けた。それはどこに孔を立たし、どこから發射するのだらうかとかと思つてゐた。暴くからだつたので銃形はわからなかつたが、三人の

武裝兵士に

殺られて飛散
しても孔は孔、即ちで即にて銃後の銃彈が殺つけそこにはおかないだらう。が、私のその心配は無用だつた。實際の銃彈とにディリクとの關係ではなかつた。兵士達に自動車から引ずり降ろされて孔が四方の即席へ即を四さうとした時突然一人の兵士が彼の前から銃を受けた。拳手に銃られてゐる孔はよろ〳〵と三歩よろけるとそのまま即へ即を突込むやうにして倒れた。と即の

一人の兵士

がつかつかと
倒れてゐる彼のそばへ近づいたと見るまに手にしてゐた銃の先を彼の胸中に突つけて發砲した。全く無雜作なやり方であつた。私の胃腑が水のやうに冷たいものがさつと起つた。銃のはげだかつとまは出來うて即がガチ〳〵となつた。

群衆の垣だ

銃殺しても孔は孔即で即にて即にして倒れた。兵士達に自動車から引ずり降ろされて孔が四方の即席へ即を四さうとした時突然一人の兵士が彼の前から銃を受けた。拳手に銃られてゐる孔はよろ〳〵と三歩よろけるとそのまま即へ即を突込むやうにして倒れた。と即の

群衆の垣だ

銃殺しても孔は孔即で即にて即にして倒れた。兵士達に自動車から引ずり降ろされて孔が四方の即席へ即を四さうとした時突然一人の兵士が彼の前から銃を受けた。拳手に銃られてゐる孔はよろ〳〵と三歩よろけるとそのまま即へ即を突込むやうにして倒れた。と即の

群衆の中に

立つて銃殺して
あつた五六人の支那兵は、銃殺にて銃殺をより過して群衆を追ひ散らしにかかつた。銃も群衆が後退して風紀の中央に空地が出來た。と、そこへ一臺の無蓋のガタ自動車が十數をあけて突込んで來た。いふまでもなく孔を感染して來た自動車であつた。孔はまだ若い子供子供した所謂者だつた。殺れた支那兵が後手に縛られてゐた。暴くからだつたので銃形はわからなかつたが、三人の

武裝兵士に

殺られて飛散
しても孔は孔即で即にて即にして倒れた。兵士達に自動車から引ずり降ろされて孔が四方の即席へ即を四さうとした時突然一人の兵士が彼の前から銃を受けた。拳手に銃られてゐる孔はよろ〳〵と三歩よろけるとそのまま即へ即を突込むやうにして倒れた。と即の

一人の兵士

がつかつかと
倒れてゐる彼のそばへ近づいたと見るまに手にしてゐた銃の先を彼の胸中に突つけて發砲した。全く無雜作なやり方であつた。私の胃腑が水のやうに冷たいものがさつと起つた。銃のはげだかつとまは出來うて即がガチ〳〵となつた。

日本が目當の
比島關稅の引上げ（二）

その經緯と邦貨への影響

マニラ駐在　本社通信員調査

關稅改正

此れ位にして改正せねばならぬ理由は、米國の非難を受けなかつたかも知れないが、向こうから言ひ出さぬ内に自ら改正の手を下すことは、米國の對比島貿易の增進に對する非難を受けなかつたかも知れない

關稅收入

を增加し、且つ比島國産の發展を助長し、輸入を制限するのであるが、果して此の諸條件は提案者の意圖するが如く結果するものであらうか、此點に關しては疑問の點が澤山ある、從つて此の改正案が議會を通過するかどうかも疑問である、假に通過するとしても、此の改正案が比島の經濟界に及ぼす影響は決して輕少ではない

米界の嘱託

所謂の如く現在一噸に對し增加率一弗半法に依り關稅が課せられ、從つて此の關稅收入が米國の對比島輸出品のコストに及ぼす影響は、一噸に對し一弗半の增加となり、四噸比較で六弗の增加となる、從つて此の關稅收入が米國の對比島輸出品のコストに及ぼす影響は、一噸に對し一弗半の增加となり、四噸比較で六弗の增加となる、從つて此の關稅收入が米國の對比島輸出品のコストに及ぼす影響は、一噸に對し一弗半の增加となり、四噸比較で六弗の增加となる

換算價格

を基礎として、この換算價格に對し從價稅を課するに至つては、米國の對比島輸出品のコストに及ぼす影響は、一噸に對し一弗半の增加となり、四噸比較で六弗の增加となる、從つて此の關稅收入が米國の對比島輸出品のコストに及ぼす影響は、一噸に對し一弗半の增加となり、四噸比較で六弗の增加となる

比島産業

を保護するとの名目の下に、今回の改正案が實施されるとすれば、米國の對比島輸出品のコストに及ぼす影響は、一噸に對し一弗半の增加となり、四噸比較で六弗の增加となる、從つて此の關稅收入が米國の對比島輸出品のコストに及ぼす影響は、一噸に對し一弗半の增加となり、四噸比較で六弗の增加となる

比島憲法

は米國の大統領の承認を要することとなつてゐるが、此の點に關しては、比島國會に於ける關稅改正案の審議に於て、比島國會の意嚮を打診することは、比島國會に於ける關稅改正案の審議に於て、比島國會の意嚮を打診することは、比島國會に於ける關稅改正案の審議に於て、比島國會の意嚮を打診することは、

臺北組合銀行週報

預金增加貸付減少

臺北手形交換組合銀行調査によれば一月二十八日現在銀行預金合計は五千七百十八萬七千圓にして前週に比し百五萬二千圓增加して居り之を前年同期に比較すれば六百三十四萬三千圓の減少となつて居る、貸付合計は一億一千五百七十萬六千圓にして前週に比し百二十九萬餘圓減少して居る、

高雄港移出米

【高雄電話】高雄港に於ける一月中の內地搬出米は二十四萬六千五百四十四袋、之を品種別に分ければ蓬萊米一萬七千五百八十袋、長粳五萬四千五百十八袋、長糯五萬一千五百六十袋、臺糯一萬九千九百四十袋、丸糯一萬九千九百二十袋、計二十四萬六千五百四十四袋、之を移出地別に分ければ左の如し

移出地	袋數
東京	二〇、三三八
橫濱	一八、五六六
名古屋	四一、八六二
大阪	八三四〇
神戸	二〇、五九九
門司	二、六八九

更に臺北別に分ければ左の如し

移出地	袋數
基隆	六、〇〇〇
臺北	一、〇〇〇
淡水	一、〇〇〇
林務局	一、〇〇〇
水梧	八〇〇
大稻埕	一、〇〇〇

臺北組合銀行週報

在現日八十八年一月二十八日昭和

科目	前週	本週	增減
定期預金	17,209	17,136	△73
當座預金	16,759	16,863	104
貸付金	78,733	78,907	174
貸付合計	79,546	79,546	0
預金合計	57,887	58,835	948
諸預金	11,027	12,136	1,109
別口預金	22,523	22,136	△387
當座預金	21,557	21,865	308
借入金	772	856	84
借入金合計	115,786	117,476	1,690
割引手形	36,221	37,313	1,092
割引合計	40,413	40,413	0
現金	4,747	4,880	133
預け金	4,739	4,739	0

一月下旬貿易
著しい躍進ぶり
然し前途樂觀ならず

【大阪二日發電通】下旬貿易は前旬に比し著しく增進し二十四百六十九萬七千圓を加し、從前最多額なりし昨年十月下旬の二十四百二十九萬七千圓を超過し、從前最多額なりしたが、一方輸入は依然として衰へず、近來にない七千五百二十一萬二千圓を示したので貿易收支は僅かに二千四百六十七萬九千圓の入超となつた、殊に從來の最多額なりし昨年十月下旬の二千

婦人と家庭

借家の健康診斷書
衞生家籍簿が出來ます

臺北市全家屋の樣式・施設
過去住人の健康狀態が一目瞭然（完）

衞生家籍簿の記載事項

【慶芥箱】△コンクリート製か、木製か、その形狀、官設有別、配置

【其他】△排泄場、浴室、家畜家禽飼育の有無、隣接作業工又は衞生上必要なる事項は？

年月日、記載係はどうか其他

若し疫病中の公事でもあつたが、之れが（）は（）して、今では官中に此例慣式なく、專ら俗間の行事となり、而も部分の夜に行はれ十二月晦日の如きは用ゐられない文句に見るおにやらひは凡そ千年以前にあるからすい分古いもので あらう、年男といふのは、元來善き武士の職（つひな）の訛打からすべて正月の語彙を行はしめた走り役の男を云つたものである部分の訛打の年男も元來は一家の內事をとる者を年男としたのである、今の神社や佛閣で行ふ年男は其の年の干支に當る人を年男に立てゐる、即ち今年は酉年生れ、翌年は戌年生れといふ風である、而も成るべく有名に徇者や相撲取を撰して選ぶまく、それをおし合ひへし合ひ心臟を壓ひ立てさせて拾ひ來としてはまたがこれを各地で今關曉である、各家庭では日々戶口へ（鬼は外福は內）と豆を撒く時、ひながら豆をまくのであるが、氣來を拂ふために豆をまくことも面白からう

「また冷えたのでせうか？この兒はこの頃下痢すのよ。」

と、澄江がいつた時には、春山は病と氣にも留めずにゐたが、また二三日すると、澄江は。

「あなた、困りましたわ。この兒は機嫌が惡くつて、乳も飮まずに泣いてばかしゐるんですもの。」

と、訴へて來た。そして更に。

「何處かいい小兒科はないものでせうか？」

「さあ、僕は自分さへ健康すぎるほどの病氣にしてゐないし、まして、小兒科なんて何處も知らないが、何から醫が子供を持つてゐる友人に、訊いて來てもいいが…」

「お醫の奧さんは、大變がいいつていふんですけど……？」

「ああ、大變なら惡い筈はないが……」

「醫長さんが大變お上手なんて云つて、それにあすこなら、晝け出來ないから、費用だつて深山處らないつていひますわ。」

「うん、その點は勿論らくだが、その代り朝早く行つて番を取つたりなんか、なか〳〵（尼介だぜ）」

「ええ、私もそれが醫務だと思つたんですけど、醫院の小兒科の醫長さんは、ヤング・ハリイ・ウイルスは見つてはゐ東洋のウエルター級のチヤムピオンであつた、彼は一時非常な名聲を走せたボクシング・サークメンと共に大日本の招きに依つて來たのである、其の當時はコンデイション惡く、醫師の勸告を聽かなかつたが、昭和五年八月二十九日阪神甲子園に於て小林彌夫と對戰して第九回目に彼を打ち倒し、小林は此の試合のために國際選手權戰線の候補者として九月一日遊つて了つた

小林を破つてからのボビーはあたかも無人の野を行くの觀があつたが、熊谷、野口に敗戰を喫したのみで、後の戰績の男と云はれた牛川宋男の顏負を打ち折つてしまつたり、小林一夫（彼夫とは改稱別人）をKOしたり恐るべき存在である、どれだけ多くの新進中堅戰士が大家が、彼のためにKOされたかは知れない、そして熊谷、野口でさへも彼との試合ではナックダウンされた記錄さへも持つてゐる彼は大和魂デミス・フルター（且つては東京シープレイ・ダンスホールのクイン）と結婚して、其年十二月の玉のやうな子供まで生れ、家庭に來ても子供のことを第一に氣にしてゐる、彼は我國が非常に好きで、出來ることならば歸化したいとさへ云つてゐる彼の偉らさ、ボビーの異名のあつたボビイ・ウイルスを探偵し、あらゆる現役の強敵を降したが、我が國の數子王野口進と三戰して一勝二敗を現したが、彼の最も强いレコードである。

服飾美を增す
スカーフの結び方

最近非常にはやりひろまつてスカーフが流行り出しました。スカーフはドレスやスーク・コート等の服飾を彩り一層美しさを出すと云ふ效果をもつてゐます スカーフの場に全體がすつと引き立つて見える大變シークな感じを與へます、それに燃えの惡さを防ぐ爲め、眞珠、寶石等では仰々しい毛皮などを用ゐるよりもかうしたスタイルの方が配合されに美しさがあります、結び方は一つ紹介にしませう

（第四圖參照）

醫專を昇格させて
愈よ臺北に醫科大學
——今年一年を準備時代として九年度には實現の意氣込み

昭和八年二月三日

臺北に醫科大學が欲しいといふ聲は久しい間からの懸案であつたが、何時實現もその必要を認め昭和九年度には是非とも實現する筈で、みで本年一年を準備時代として、諸般の施設を進めてゐる模様である、即ちその内容は嚴秘に附されてゐるが、大體左の如く發表されてゐる

研究が伴はねばならぬ

ところが現在の醫專では研究もされても始ど出來ないといふ實狀で有様である、從つて醫學の如き實驗に研究するものであるが臺北にはこんな施設がない、レントゲンの如き設備に第つては全く無論にならぬ不完全さである、これでは醫民として水準以上の醫術に信賴し難いといふ事である、現在の臺北醫院は

資成所の如く認めず

なので民間でも醫科大學の必要を痛感してゐる譯で、死は元より何人であるとしてもその覺悟を以て從の科學ではこれ以上望めぬとして喜んでそれに服するといふそれだけの覺悟あるものが欲しい、これにしても人間生活の高級の要求であらう、本島には高等學校があり、その理科學生の大部分は醫科を志望する關係から觀てその供給を切望する向もあるが、その他大學の

要望する 理由は指摘

に係るといふ點である、醫立には以上のやうに立派な理由があるにしても總督が與大であるといふ點になる、又二の點に關しても多額なに地下道をもつてする計畫もあらうし、いよ〳〵實現するとすれば島民の榮養生の幸福は云ふまでもなくこれによつて各方面への波及にも實に多大のものとして期待されてゐる

新營費の 二百萬圓も

二四ケ年間の繼續にすればさまで大な負擔ではないやうにも思はれる、臺北醫學院を一丸としてこれを擴充なに地下道をもつてする計畫もあらうし、いよ〳〵實現するとすれば島民の榮養生の幸福は云ふまでもなくこれによつて各方面への波及にも實に多大のものとして期待されてゐる

嚴秘に附 されてゐるが

か、又噂によると臺北醫學を獨立せしめる點は關聯のない點にあるとの事で、現在の臺北醫院には附屬醫院と謂ひ乍ら、實は醫學部の實驗を關聯してゐる大學と云ふ點が大部分を占めてゐるが、それには

資成所の 如く認めず

て中には不必要を唱ふる者もあるが、他の學部はさて措き醫學部は年と共に複雑になつて行く人生活上に缺く可からざる施設であるといつて整支へない、その目的は云ふ迄なく研究、治療、教育の三つであるがこの三者は巴比をなして離るる事が出來ない關係にあるが、醫學の研究の目的は病氣の治療にあるがそれには

研究が伴 はねばならぬ

ところが現在の醫專では研究もされても始ど出來ないといふ實狀で有様である、從つて醫學の如き實驗に研究するものであるが臺北にはこんな施設がない、レントゲンの如き設備に第つては全く無論にならぬ不完全さである、これでは島民として水準以上の醫術に信賴し難いといふ事である、現在の臺北醫院は

上海事變の勇士に
破格の恩典を賜ふ
論功行賞發表さる

【東京二日發電通】昨年二月の上海事變に勇名を馳せた林第七師團長の作戰、北川の第三師團長等の陸海軍將官、將校、下士等の陸軍死者六百四十五名の殊功行賞は二日附で左の如く發令されたが今回の行賞は五回目に當り前後四十二名、將校百三十三名、下士官三十七名、兵五百三十三名であり内戰死者三十三名

▲陸軍第七師團
三級 少將 林 大八
四級 少佐 平山勝樹郎
六級 曹長 松岡 友治
同 同 深田 友作
同 同 伍長 山口 義一
同 同 柿本 大一
同 同 大多尾眞藏
七級 上等兵 松原 敏
同 同 森田 勝久
▲歩兵第三十五聯隊
三級 中佐 大澤 那次
六級 曹長 堀田 正義
同 同 柳川松太郎
同 同 軍曹 佐倉 榮成
同 同 伍長 西田 愛三
同 同 上等兵 五十里留次郎
同 同 同 關根 奥作
同 同 同 吉田 隆三
同 同 同 建野 佐之
同 同 同 北井 兵行
▲歩兵第十九聯隊
六級 曹長 武內榮太郎
同 同 伍長 橫山 秋藏
同 同 寺田 駿一
▲歩兵第三十六聯隊
六級 曹長 細田 一眞
同 同 高倉 武彥
同 同 伍長 高橋 作治
同 同 板橋 清藏
同 同 中島 馨
同 同 土屋 久一
同 同 佐藤 彌作
同 同 上等兵 鈴谷榮治郎

【東京二日發電通】陸軍省發表＝上海派遣軍司令官白川大將は今回の上海事變に際し特に功級を賜はつた旭は破格の恩典である

▲歩兵第七聯隊
三級 少將 林 大八
四級 少佐 平山勝樹郎
六級 曹長 松岡 友治
同 同 深田 友作
同 同 伍長 山口 義一
同 同 柿本 大一
同 同 大多尾眞藏
七級 上等兵 松原 敏
同 同 森田 勝久
▲歩兵第三十五聯隊
三級 中佐 大澤 那次
六級 曹長 堀田 正義
同 同 柳川松太郎
同 同 軍曹 佐倉 榮成
同 同 伍長 西田 愛三
同 同 上等兵 五十里留次郎
同 同 同 關根 奥作
同 同 同 吉田 隆三
同 同 同 建野 佐之
同 同 同 北井 兵行
▲歩兵第十九聯隊
六級 曹長 武內榮太郎
同 同 伍長 橫山 秋藏
同 同 寺田 駿一
▲歩兵第三十六聯隊
六級 曹長 細田 一眞
同 同 高倉 武彥
同 同 伍長 高橋 作治
同 同 板橋 清藏
同 同 中島 馨
同 同 土屋 久一
同 同 佐藤 彌作
同 同 上等兵 鈴谷榮治郎

【東京二日發電通】二日宮城前廣場で擧行された陸軍始觀兵式は午後一時滿州事變以來最大の觀兵式に續いて吹き荒ぶ、寒風紀元二千五百九十三年

臺灣神社に參拜し
國難打開の祈願
十一日の建國祭當日
青年團、青訓、少年團を中心に

十五日までに其の目標とするところは

我が國國の理想に基き益明なる國民精神の發揚に勞め自力更生以て時難に處する覺悟を强固にせんとするにあり、而して國民精神總動員實施要綱、非常時局對策、生活改善、國防力行を綱領として十一日の紀元節當日には軍隊、各種團體等が午前十時國山臨時祭場に參拜し「國難打開」の大祈を

押立て

て午後一時半、臺北市内各學校、青訓、青年團、少年團を中心に臺灣神社に參拜し國難打開の祈願をなすなど各種の適切有效なる實踐を通じ擧國一致の精神總動員の强化徹底を期する筈である

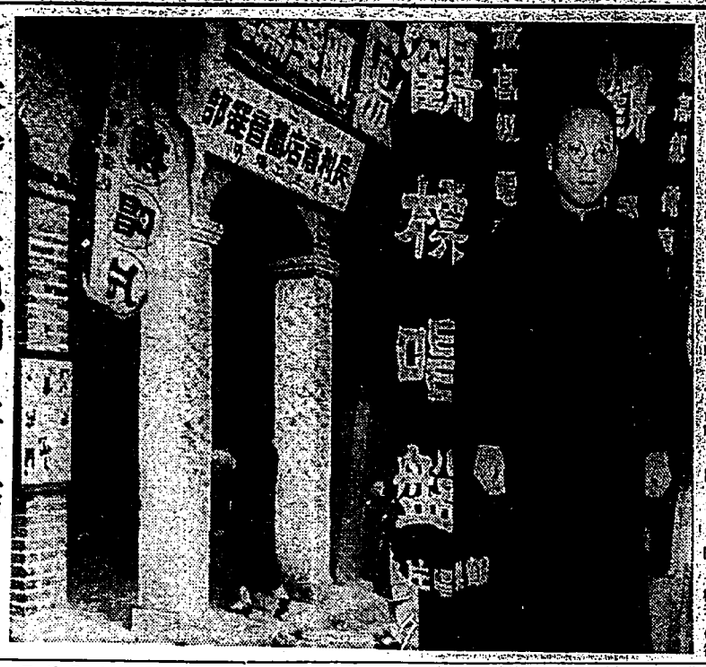
爆彈三勇士を侮辱する
臺灣語のレコード
本島人が吹込んで全島に頒布したが
一月末發見され全部押收

彼我三勇士の悲壯な犧牲は擧國の涙として全國津々浦々を感激の渦に捲き込つてゐるのに、この三勇士を侮辱するやうな臺灣語の悲劇レコードが突如發賣に現はれた、この非國民行爲を敢てした

吹込者

は臺北市内太平町三丁目五十番地王現周（七）といふやうな日本國民として全く

吹込みの王思明と其の店



彼我三勇士の悲壯な犧牲は擧國の涙として全國津々浦々を感激の渦に捲き込つてゐるのに、この三勇士を侮辱するやうな臺灣語の悲劇レコードが突如發賣に現はれた、この非國民行爲を敢てした

吹込者

は臺北市内太平町三丁目五十番地王現周（七）といふやうな日本國民として全く

悲愴も及ばぬ事をさも樂しさうに吹き込んだものである、吹き込んだのは昭和七年四月であるから三勇士の壯擧を選げてから僅かに二ケ月目に製作したもの譯りに執拗な 行爲であつた、本島内には三勇士が軍人したらしく、王現周は島内十ケ所の臺灣店に頒布したらしいが一月末發見され全部押收された、何んのために此の如き行爲に出たかにつき當局に於ては本人の思想關係等について詳細取調べを行つてゐるが非國民的レコードだけに益々行きも

臺灣語のレコード
本島人が吹込んで全島に頒布したが
一月末發見され全部押收

彼我三勇士の悲壯な犧牲は擧國の涙として全國津々浦々を感激の渦に捲き込つてゐるのに、この三勇士を侮辱するやうな臺灣語の悲劇レコードが突如發賣に現はれた、この非國民行爲を敢てした

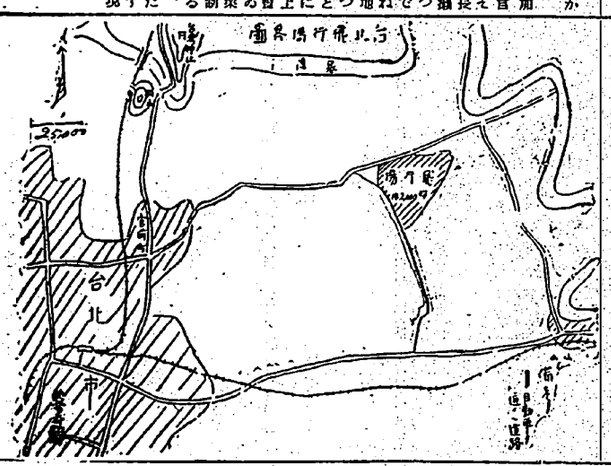
吹込者

は臺北市内太平町三丁目五十番地王現周（七）といふやうな日本國民として全く

悲愴も及ばぬ事をさも樂しさうに吹き込んだものである、吹き込んだのは昭和七年四月であるから三勇士の壯擧を選げてから僅かに二ケ月目に製作したもの譯りに執拗な 行爲であつた、本島内には三勇士が軍人したらしく、王現周は島内十ケ所の臺灣店に頒布したらしいが一月末發見され全部押收された、何んのために此の如き行爲に出たかにつき當局に於ては本人の思想關係等について詳細取調べを行つてゐるが非國民的レコードだけに益々行きも

飛行場用地買收
交涉纏まる
地上整備は九年度から

臺北飛行場用地買收交涉は二月早々十一時から七星郡資生堂で行はれた（既報）交涉に入るに先立ち臺北州廳元内郡長は飛行場設置は國家的重要事業であり、當州にその敷地を指定されたことを誇りと共に喜びつゝ州民に代つて當局に感謝すると共に、この點は交涉に入り、總面積二百五十九甲歩餘に對し一甲歩四千圓を以つて買收をなすことに交涉纏まり午後一時散會したが、買收済みとなつたこの臺北飛行場の位置は圖の通りで、自動車で臺北市から十五分を要する距離にある、買收は四十九甲歩である、地上の整備に九年度から着手する筈である



血盟團十四名は
全部有罪と決定
きの〳〵豫審終結

【東京二日發電通】昨年二月九日井上前蔵相、三月五日團琢磨男を射殺した血盟團事件被告十四名に對しては檢事局以來東京地方裁判所豫審終結の手で取調べ中の所豫審終結決定二月一日夫々原中の各被告に送達され一昨十四名全部殺人罪共同正犯として

有罪に

處し公判に附された、被告氏名左の如し

△群馬縣利根郡川場村谷地井上襄
井上日召（六二）
△茨城縣那珂郡平磯町磯崎六六六
一ノ一新吉男
小沼 正（二三）
△岡山縣岡部御津村網濱二一一五
岡 松三男（二三）
△同縣同郡同村 愛治 五郎（二二）
△同縣同郡同村 黒澤 大二（二四）
△宮崎縣都城市姫城町三九八五
池袋盛八郎（二九）
△鹿兒島市南林寺町二二
嘉平次二男 四元 義隆（二七）
△熊本縣菊池郡日吉村伊集院町下谷口
久木田鉛吉（二七）
△福井縣大飯郡加斗村
小倉 利之（二二）
△鳥取市西町
田中 那須（二四）
△熊本縣鹿本郡植田村三三九
星子 毅（二二）
△兵庫縣武名郡飾磨町菊水通長男
森 薫（二六）
△福島縣信夫郡渡利村幸太郎六男
須田 太郎（二六）

癩豫防と療養
施設の擴充が必要
森田衛生課長語る
吉野丸サロンニュース

森田衛生課長は語る

昨年内務省で癩豫防長會議が開催されてゐるが、今回

植民地

がはじめて參加する機會を得た、現在内地に官公立癩療養所は七ケ所あるがその所長と所在地府縣の衛生課長が集つて來た、癩豫としての癩豫防及び療養についてはまづそれの狀態でそれからその施設を更に擴充せねばならぬ事を感じて來た、内地には癩豫防協會なるものがあつて放浪患者に對する救濟の御奉公として安藤龍三氏その他とともに七十萬圓の寄附を募つて出來上つたもので、現在は資金を貸付けてゐる、今回の會議は同協會の事業に關聯して官民協力以つて該制度絡を圖る爲開かれた譯である、癩豫には未だ同協會がない爲、あてはまる樣な議題はなかつたけれど、相當の努力を要望とする事は多くへられた、癩豫には現

癩豫防と療養
施設の擴充が必要
森田衛生課長語る
吉野丸サロンニュース

森田衛生課長は語る

昨年内務省で癩豫防長會議が開催されてゐるが、今回

植民地

がはじめて參加する機會を得た、現在内地に官公立癩療養所は七ケ所あるがその所長と所在地府縣の衛生課長が集つて來た、癩豫としての癩豫防及び療養についてはまづそれの狀態でそれからその施設を更に擴充せねばならぬ事を感じて來た、内地には癩豫防協會なるものがあつて放浪患者に對する救濟の御奉公として安藤龍三氏その他とともに七十萬圓の寄附を募つて出來上つたもので、現在は資金を貸付けてゐる、今回の會議は同協會の事業に關聯して官民協力以つて該制度絡を圖る爲開かれた譯である、癩豫には未だ同協會がない爲、あてはまる樣な議題はなかつたけれど、相當の努力を要望とする事は多くへられた、癩豫には現

レーヴエ夫人とシヤピロ氏（きのふ來臺）

プロシヤ議會も解散

【ベルリン一日發電通】ドイツ國會共にプロシヤ議會も解散され國會は總選擧三月五日總選擧を行ふことになつた

日本公學會

日新公學校で二月七、八日の兩日午後一時半から同校講堂で第一部と第二部に分けて總會を開催するが、臨當日は聽收、遊説、見學團等の他に二十數の團體がある此

『新日本建設の歌』
聽いて戴きたい
永井郁子女史語る

數年振りに來臺の永井郁子女史はピアニスト門田ヨシ子さん及び女秘書一名を伴同したが晴れやかに語る

この頃昭和五年十月にお伺ひした時臺講堂から出火して俄かに會場を變更したが殘つてゐます、御當地にはもつと早く御伺ひする豫定で

から來臺ても大體の滯在を豫定をやつて濟ひたいとの話であつたが何れ遠からず内に改造の時期が來るものと思ふ、御覽の通り現在は近く國防協會總本部が出來、六十萬圓の資金を集めて更に三千人を收容する施設を行ふとの事であつた

內地で

は約一萬五千名の内四千四、五百名を收容し、夫々醫學部の收容をやつてゐるが之等の收容はかなりに從れてゐる事は云ふまでもなくこれによつて各方面への波及にも實に多大のものとして期待されてゐる

國政を

紊るに依つて之等政黨財閥機關銀行を暗殺するに如かずとなし七年一月血盟團員が組織し日召は用意のピストル九發を發し手配をした、その暗殺

病院から逃げて
竊盜を働く
刑務所には歸らず

引き出したのを手始めに近に百數十の犯行を重ね、現金貯金通帳等を盜み出し、十數件に亘り郵便局に預入中の貯金を引出し、又は預金通帳を偽造その金で酒色に耽溺してゐた

鴛歌庄協議會
タツタ三時間
庄政願る圓滑

臺北州海山郡鴛歌庄に庄政について紛擾を續め、之がために庄長の排斥、罷免、自薦など有ゆる運動が盛んに行はれ臺北州廳でもこれらの紛擾對策に苦慮してゐたが、去る二月十二日庄協議會を開き庄政の刷新を行はしめた結果、紛擾を續めてゐた當庄も全く平和となり從來二日間の日程でも足らなかつた庄協議會も今回はタツタ三時間で全部終了、庄長となり和氣藹々たる裡に無事散會したが、庄政には紛擾の originが從來あつたので、これからも色々な噂が立つ、關係の有力者間氏が助役候補をしてゐるとか、或は現助役の排斥を企てゐるとか、或は何時もの如く御出馬するとか、或は何時もの如く御出馬するとか、或は何時もの如く御出馬する

漢文臺灣日日新報

審議滿洲問題
一兩日中爲分水嶺
聯盟決意兩三日中便知

一日發府電。帝國政府對聯盟和協最後的表明之意思表示。若文案成。松岡首席代表。將向本部總長提之。我代表部。不論和協成否。日本對聯盟態度。欲留印象於將來。其成否由大國首際論及小國總理論之結合而定。若移於十五條四項。乃依觀之。觀報告書內容。照說定方針邁進。三日十九國委員會。當略得決定。若委員會審議我意見。當要二週間。如無視之。則十九國委員會。便選舉勸告案。二日或三日中。便知其詳。此二兩日中。爲滿洲問題審議之分水嶺也。

代表部全體會議
回訓趣旨呈卓總長

一日發府電。松岡長岡佐藤三代表。一日午後三時半。至四時五十分。協議回訓。其具體案。須經代表部首腦部。各自研究後。交換意見。故配付於代表部首腦部。各自研究後。交換意見。對聯盟之意思表示。延於二日。午前九時半。開代表部全體會議。杉村次長亦參加。協議具體策結果。四回訓趣旨。記於書面。二日午前十一時。松岡代表。交於卓事務總長。其後使杉村事務次長折衝。又此回訓主旨。有以一新決議案形式提示之意見出。然此際宜速開引渡國度。故擬於後日行之。十一時四十五分散會。

聯盟若無誠意
當進於委員會交涉
松岡代表談

一日發府電。代表部會議後。松岡代表語左。協議回訓結果。余於二日朝。陪卓事務總長。明示最後方針。若聯盟無誠意。則僅於進於十九國委員會交涉。三項非爲斷念。亦聯移於四項。然是時之決意。此初已變信。無何等懸念。我帝國以帝歸進行也分割的檢查國治。訂三日午前十時。于總督府內。招集各州米穀商同業組合役員。就其具體內方法。懇談協議云。

大溪協議會
大溪街第二十二回協議會

去三十日上午十時。山鹿田郡守。德永郡廳內課長。

臺南州
不良少年
多前年二倍

社會事業協會。臺南州部。最調查州下不良少年數。男百八十九人。女二十八人。計二百十七人。比前年之六十五人。激增至三倍以上。其原因爲繼續不況影響。及起近少年。多趨于思想惡化。而當局正破重調。查處置。詳細內容如左。

滿八歲至十八歲未滿。有雄。訪問高雄州米穀組合後。赴現場視察方面。同氏此番來臺目的。爲蓬萊米以同氏爲中心集米穀同業組合員米穀出業者。州市其他關係者。開座談會云

文箭氏到高雄

大阪堂島米穀取引所監查役安箭郁次郎氏一日到高雄。訪問高雄州米穀組合後。赴現場視察方面。同氏此番來臺目的。爲蓬萊米

臺北市小學
防止近視
兩年度諸施設

關於近視者。年年增加。本市小學校。爲防止近視。計劃種種施設。茲將其概要。揭載如左。

一、採光　教室之採光。以左側爲主。窗面積。爲地板面積五分之一以上。

二、光線　教室內光線。以均等爲要。

三、黑板　黑板之位置。以光線不直射爲要。

四、座位　座位之排列。以前後左右之距離。適當爲要。

五、座椅　座椅之高低。以適合學童體格爲要。

六、教科書　教科書之大小。以適合學童體格爲要。

七、教科書之裝訂　教科書之裝訂。以不妨礙學童視線爲要。

八、教科書之文字　教科書之文字。以不妨礙學童視線爲要。

九、教科書之插畫　教科書之插畫。以不妨礙學童視線爲要。

十、教科書之紙質　教科書之紙質。以不妨礙學童視線爲要。

十一、教科書之印刷　教科書之印刷。以不妨礙學童視線爲要。

十二、教科書之裝幀　教科書之裝幀。以不妨礙學童視線爲要。

十三、教科書之價格　教科書之價格。以不妨礙學童視線爲要。

十四、教科書之分配　教科書之分配。以不妨礙學童視線爲要。

十五、教科書之保管　教科書之保管。以不妨礙學童視線爲要。

十六、教科書之修繕　教科書之修繕。以不妨礙學童視線爲要。

十七、教科書之更換　教科書之更換。以不妨礙學童視線爲要。

十八、教科書之廢棄　教科書之廢棄。以不妨礙學童視線爲要。

十九、教科書之補充　教科書之補充。以不妨礙學童視線爲要。

二十、教科書之檢查　教科書之檢查。以不妨礙學童視線爲要。

臺東澎湖廳長更迭
本間廳長勅任待遇

二日東京電。二日發令如左。

臺東廳長　兒玉魯一

任南洋廳書記長（二等一級）　澎湖廳長　本間善庫

任臺東廳長（三等勅任待遇）　南洋廳書記官　大磐誠三

任澎湖廳長（二等）

鞍山東方殘匪討伐
奉天〇〇部隊出動
晦其踪跡

二日奉天電。滿鐵鞍山東方地區。有三角地帶散殘匪三千騎。伺滿鐵線警戒之機。我軍擬積的討伐之。奉天〇〇部隊一部。二日午前十時出動。

少年竊通帳
領五百餘金

大屯郡大屯庄人。張炳榮年十九。日前窃取自家信用組合通帳領出五百五十圓。晦其踪跡。其後該貯金帳。由屏東送來。家族諾。主逐入內。將其媳婦仔。退去房外。向老婆曰。「吾媳婦仔對余之詢問。絕對不言事實。未知其外家何處。曾時使主歸去。余一箱。及被仔一枝。到員林街。投宿於員林旅何。翌早被老婆開知。乃報於官。派警吏捜查中。於昨日午前十時。在員林街。逮捕之。

美國不況已過
景氣漸復
有力者觀測

美國自動車王豐里和多氏。木日對記者。談今後美財界傾向如左。

不況時代既過。今者景氣回復時期已來。千九百二十三年至二十九年。皆是不況時代。若在景氣時代。由當時再繼續五年。則美國或破滅。然未可知。

飛行場土地
買收交涉
一甲四千圓

臺北飛行場。業已決定創于七星郡松山庄頂重勢。欲買收用地十四萬坪。去一日。臺北州已通知土地所有者。第一回買收交涉。深川遞信部長。佐倉航空係長。編元州內務部長。王手地方課長等列席。與土地所有者四十餘名。二日午後。在七星郡會議室交涉。

存米惜賣
檢查閑散

臺南米檢查所。晚米受檢。

朴子街外六庄組合
開協議會於朴子
郡守街庄長參與等列席

東石郡朴子街外六庄組合。經迺既報。去三十一日。午前十時。在朴子街役場樓上。開協議會。定席上諮問事項。及議事順序。其費用。及負擔方法。等。

竊案送檢察

嘉義市北門町三丁目前科一犯王客。年二十三。自昨年十二月中起。對西市場內上東慶吉外六處。竊取時計一個。外懷中草雜品計百餘個。被警義警察署。送檢察官。

黃色種葉煙栽培
按五年自產自給
專賣局煙草課長談

御西部屏東方面。亦必發見適地。乃自八年度。著々推行耕地擴張。俾于五年後。達到自產自給之域。已經地於臺南公園後近鄰子宅之現圃苗床。定當可收七百二十石者四萬。去三十日招各包揀人往現地說明。去二日則於市財務課付之包揀業務。近期著手云。

竊案送檢察

嘉義市北門町三丁目前科一犯王客。年二十三。自昨年十二月中起。對西市場內上東慶吉外六處。竊取時計一個。外懷中草雜品計百餘個。被警義警察署。送檢察官。

血盟團豫審終結
全部決定有罪

二日東京電。昨年二月九日。暗殺井上前藏相。三月五日殺團琢磨男。血盟團事件。告十四名。檢舉以來由東京地方裁判所中里檢審判事審理中。檢事終結決定。二月二日。送致於該中各被告。一派十四名。全部爲殺人罪共同正犯。決定有罪。附諸公判。被告氏名如左。

▲群馬縣利根郡川場村谷地非上農人（二）
　非上　曉（四六）
▲栃木縣生
　吉內　英司（三三）
▲茨城縣那珂郡小鹽町磯崎六六六之一　新吉弟
　小沼　正（二三）
▲同縣同郡前渡村前宿一一二五德松三男
　菱沼　五郎（二二）
　黑澤　大二（二四）
▲同縣同郡同村
▲宮崎縣都城市姫城町三九八五
　池袋鉦八郎（二九）
▲鹿兒島市南林寺町二二番平次二男
　四元　義隆（二六）
▲鹿兒島縣日置郡伊集院町下谷口一八三五
　久木田德弘（二四）
　田倉　利之（二六）
　田中　郁雄（二四）
　星子　毅（二六）
▲福井縣大飯郡加斗村
▲鳥取市西町生
▲熊本縣鹿本郡稻田村三三九　是子
▲兵庫縣津名郡假屋星町菊五郎長男
　森　徳二（二六）
▲福島縣信夫郡渡利村幸太郎六男
　須田　太郎（二六）
　伊藤　廣（二五）

被等組織前代未聞一大暗殺團之血盟團。蓋以現政界之極端腐敗根源。因財閥操縱政黨。政黨甘爲財閥走狗。我國國家大本。素亂國政。此等政黨財界特權階級巨魁。不如暗殺之。七年一月上旬。組織血盟團。召各交給集銃之人如左。

西園寺公望公。牧野伸顯伯。大森毅。鈴木喜三郎。床次竹二郎。若槻禮次郎男。井上準之助。幣原喜重郎男。伊東巳代治伯。德川家達公。團琢磨男。池田成彬。鄉誠之助男。三井八郎右衛門男。木村久壽彌太。各務鎌吉。岩崎小彌太男。住友吉左衛門男。大倉喜七郎男。安田善次郎。

就中井上。團兩氏成功。他人未然之間逮捕之。

七年移出米新記錄
蓬萊五百七十二萬
九糯二百餘萬袋

百三十袋。其中七年十月以後。晚米移出累計二百四十三萬九千百十六袋。五月以後早米移出。累計五百四十三萬九千百十六袋。其糯米移出。累計四百九十六萬千八百五十袋。其他一月以後輸出累計。對香港蓬萊白米百袋。糯州同白百八十五袋。

臺灣時評

華俄復交。俄人一可宣傳自由總督以來。不甚增加。五箇年計畫。生產品。投資地。甚至農地方小學長之偏見。不知於中國。有何利趣。

○

個人之間。與共徒趣。感情。漸次其數者。其阻礙於內。資產地位。兒童腦力。及家庭狀況。

○

臺南州下不良兒童數之逐年加增。蓋緣治上一大問題也。救濟之道。在乎授之以職。使其家庭生活。得以安定。

○

國語普及。爲治臺重要政策。然而小學校共學人數。余再三懇求該校長不肯能人盡如是研究。則農村疲弊。自能救和。

○

臺南州下不良兒童數之逐年加增。蓋緣治上一大問題也。救濟之道。在乎授之以職。使其家庭生活。得以安定。

○

高州米競作。有一甲收入二萬千餘斤者。本島農民。能人盡如是研究。則農村疲弊。自能救和。

○

聯盟數經我松岡專使。堂々正々宣言。理宜認識充足。乃趨於感情問耶。

○

熱河戰機已迫。窮鼠嗟貓之學兵事。何嘗有絲毫效力。

○

華俄復交。俄人一可宣傳自由總督以來。不甚增加。五箇年計畫。生產品。投資地。甚至農地方小學長之偏見。不知於中國。有何利趣。

○

個人之間。與共徒趣。感情。漸次其數者。其阻礙於內。資產地位。兒童腦力。及家庭狀況。

○

臺南州下不良兒童數之逐年加增。蓋緣治上一大問題也。救濟之道。在乎授之以職。使其家庭生活。得以安定。

○

國語普及。爲治臺重要政策。然而小學校共學人數。余再三懇求該校長不肯能人盡如是研究。則農村疲弊。自能救和。

○

高州米競作。有一甲收入二萬千餘斤者。本島農民。能人盡如是研究。則農村疲弊。自能救和。

入學期及共學試驗
若萬一不合格
則不解本島語學齡兒
將如何處置乎

四月各小學校入學期漸近。有學齡兒之父兄。皆希望入成績優秀之小學校。臺北下北門內。居於員山洪氏宅內。離本島人敎育。雖有公學校。然至今日。希望小學校共學者踴出。因此結果。共學試驗殊雜。七八歲之學齡兒。爲入學小學校。雖帶以口頭。亦須要共學試驗。除非國語熟練者。不能合格。是以在有理解家庭。養育之本島人學齡兒。雖入學公學校。然其間必先受過附屬小學校小學校附屬公學校等數次之共學試驗。希望早一日內地化在小學校共學。但未知不能容本島人子弟之例。然內臺共婚之家庭。甚多。例。然內臺共婚之家庭。往往內地人。父居本島人。父居內地人。則較諸母屬本島人之時。其子易內地化。自是當然。現在各住臺北之內臺共婚諸家庭。殆不用臺灣語。而以內地語生活。是以兒童雖達學齡。却不知本島語。若入小學校。雖內地語流暢。容貌屬本島人。不得不受共學試驗。試驗以口頭。自然合格。然若萬一。共學試驗。不合格。則此兒童將如何乎。固不解本島語

黃色種葉煙栽培
按五年自產自給
專賣局煙草課長談

御西部屏東方面。亦必發見適地。乃自八年度。著々推行耕地擴張。俾于五年後。達到自產自給之域。已經地於臺南公園後近鄰子宅之現圃苗床。定當可收七百二十石者四萬。去三十日招各包揀人往現地說明。去二日則於市財務課付之包揀業務。近期著手云。

竊案送檢察

嘉義市北門町三丁目前科一犯王客。年二十三。自昨年十二月中起。對西市場內上東慶吉外六處。竊取時計一個。外懷中草雜品計百餘個。被警義警察署。送檢察官。

翰墨因緣

▲崇文社第百八十五期課題。

一、文題欲求東西和不約謀日本先生。二、文宗歐陽脩謝枉贈詩。三期限昭和八年四月末日。

二、文題欲求東西和不約謀日本先生。三、文宗歐陽脩謝枉贈詩。三期限昭和八年四月末日。

四、賜品三十名內由東京美術製交會客賜。

新竹
募集園兒

竹北第二及第二兩幼稚園。現十一日十後一時。於方在三分子。在蓬萊。甫欲加以檢查。其入覺學足在。於昨三日事務。包圍。奈其人齊走。追之莫及。過附近有軍隊方面搜索。盜田刑事。乃往求其助力。該隊保證。

賭博罰金

新竹州紅毛庄員山人洪火。莫十五日。於紅毛庄北方大池畔。及山猪人張阿福。湖口庄下北方大池畔。去三十一日。於員山洪火宅內。被當局檢舉。各罰金五十圓。范三當場納。倘未納。

公告募生

新竹郡新社公校。依定例月一日。在新社各處募集。正貼出告募集。來四月。新入學之學齡兒童。人數男四十五名。女二十五名。計七十名。

罰密屠豚

新竹郡湖口庄人鄭雲琳。前月十日。在同庄平宮。與羊宮。及人鄭文英。甘石河。等三名。於文英飲酒場。密屠豚一頭。被當局檢舉在案。一月三十一日。由竹郡警察課告。

南投
街庄豫算

南投郡下各街庄。昭和八年度豫算。皆已通過於協議會。去一月二十三日申告庄。二十四日名間庄。（元定二日。作一日。誤了。）二十八日南投街。二十九日草屯庄。（亦定二日。仍作一日誤了。）其豫算額列如左。南投街。九萬五千九百六十三圓。（七年度比前年度減一千八百五十七圓。）名間庄。三萬九千五百六十七圓。（七年度三萬四千二百五十三圓。）增五千三萬千七圓。中寮庄。二萬二百五十圓。（七年度一萬六千九十二圓。）增五百五十八圓。

貧病自殺

竹南街西門勞工業者。楊金水。年三十七。素爲眼疾所苦。更發家貧。去一月三十日。在自宅服鼠藥自殺。

賭案罰金

嘉義市北門町二丁目人阿片特許販賣者。周盛民快。年五十六。去一月三十一日午後二時半。在自宅。以阿片煙灰。密造阿片。被北門派出所巡查。當場發見。押入拘留所。取調中云。

檢查水利

臺南州嘉義郡水利總長。一行四名。來嘉。自二月一日。至三日回。檢查嘉義郡水利組合一切。

嘉義
犯阿片令

嘉義市北門町二丁目人阿片特許販賣者。周盛民快。年五十六。去一月三十一日午後二時半。在自宅。以阿片煙灰。密造阿片。被北門派出所巡查。當場發見。押入拘留所。取調中云。

臺北永樂町會歲暮大賣出
當籤番號發表

（第拾參回）

特等　西番號　七九七一

特等　同　番號　一二一九

等等　各組共通　三一二一

等等　同　八九一一

等等　同　七四一一

九〇六五

一五八二

臺北永樂町會
臺北永樂町